

高い紫外線カット効果

～子供用ラッシュガード～

紫外線を浴びることの弊害が問題となっている中、海水浴やプールでラッシュガード(※)を着用する人が増えています。特に子供は皮膚が薄く紫外線を吸収しやすいので、水泳の授業等でラッシュガードの着用を認める学校も増加しています。そこで現在市販されている子供用ラッシュガードを購入し、紫外線カットの効果や耐洗濯性などをテストしました。※紫外線防御、すり傷から肌を守ることを目的としてプールやマリンスポーツ時に着用する衣類。体にフィットしてぬれても大丈夫な素材でできたTシャツのようなもの。ハーフパンツなども販売されています

テスト品

・子供用ラッシュガード…11 銘柄
(色違いの銘柄、身頃、袖で色が異なる銘柄は色ごとに測定しました)



テスト結果

○紫外線カット効果

新品(乾燥状態)、湿潤状態(海やプールでぬれた状態を想定)、洗濯10回後(乾燥状態)の各条件について紫外線カット効果を紫外線遮蔽率とUPFを測定しました。

【紫外線遮蔽率】いずれの銘柄も94%以上あり、全体的に高い遮蔽率でした。新品時と比較して、湿潤時や10回洗濯による大幅

<紫外線遮蔽率とは?>

アパレル製品等品質性能対策協議会の推奨する表示、波長270～400nm(ナノメートル)(※)の紫外線をどれだけ遮蔽するか「%」で示したものです。紫外線カット率ともいいます。

※1nmとは百万分の1mm

<UPFとは?>

紫外線保護指数(Ultraviolet Protection Factor)の略称。地表に届く紫外線は波長が短いほど皮膚への作用力(肌に紅斑が現れる)が格段に強くなります。このため、UPFは各波長に対する皮膚の感度と日光の

相対エネルギーを係数に入れることで生地の上で防御効果を示しています。UPFは15以上で防御効果があり、UPF50+(50+:50以上)が最高値です。3段階に分類され、15～24がGood(良い)、25～39がVery Good(優良)、40～50+がExcellent(優秀)とされます。



●テスト品一覧とテスト結果

No.	色	銘柄名	表示者名	組成	原産国	価格(円)	紫外線カットに関する表示	テスト結果		
								紫外線遮蔽率(%)	UPF	
1	黒	L G S	協同組合関西ファッション連合	ポリエステル85% ポリウレタン15%	中国	999	UVケア 遮蔽率90%以上	99.5	50+	
	白							99.1	50+	
2	黒	Opsunwear	ニッキー(株)	ポリエステル100%	中国	2,052	紫外線90%以上カット!	98.7	50+	
	白							94.6	27	
3	身頃:白 袖:紺	K・SWISS	ジャバントライアスロン株式会社	ポリエステル100%	中国	2,916	紫外線遮蔽率80%以上	身頃 袖	94.5 96.0	30 21
4	身頃:黒 袖:青	IGNIO	株式会社ジャパーナ	ポリエステル87% ポリウレタン13%	中国	1,999	紫外線防止指数UPF50+ 紫外線カット率95%以上	身頃 袖	99.9 99.6	50+ 50+
	身頃:白 袖:水色							身頃 袖	99.6 99.7	50+ 50+
5	白	gelato	協同組合関西ファッション連合	ポリエステル85% ポリウレタン15%	中国	3,240	UPF50+	98.7	50+	
6	グリーン	kissmark	(株)キスマークジャパン	ポリエステル85% ポリウレタン15%	中国	3,599	UPF50+	98.2	50+	
7	青	PUMA	プーマジャパン(株)	ポリエステル86% ポリウレタン14%	中国	3,024	UPF30	97.6	50+	
8	黒	adidas	アディダスジャパン(株)	ポリエステル85% ポリウレタン15%	中国	3,564	UPF25	99.7	50+	
9	身頃:白 袖:黒	Champion	ダイワボウアドバンス(株)	ポリエステル85% ポリウレタン15%	中国	3,132	UV対策 この製品は紫外線の遮蔽率を高めています。	身頃 袖	95.7 98.3	50+ 50+
10	紺	NIKE	フットマーク(株)	ポリエステル80% ポリウレタン20%	ベトナム	3,564	マーク(太陽光カット)	99.9	50+	
11	身頃:白	OUTDOOR	(株)カイトックファミリー	ポリエステル80% ポリウレタン20%	中国	3,672	なし	身頃	97.2	50+
	袖:紺							袖	98.1	50+

な遮蔽率低下や上昇は認められませんでした。また、色別では、黒は高い傾向にありましたが、その他の色では違いは認められませんでした。

【UPF】 新品時は、No.2(白)が27、No.3は袖が30、身頃が21、その他はいずれも50+でした。新品時と比較して湿潤時や10回洗濯による大幅なUPFの低下や上昇は認められませんでした。UPFは15以上で効果があるとされており、テストの結果いずれの銘柄も21以上でした。11銘柄中9銘柄がUPF50+で、最高値でした。

表示

紫外線カット効果を示す紫外線遮蔽率の数値表示のある3銘柄(No.1~3)、UPFの数値表示のある4銘柄(No.5~8)、両方の表示がある1銘柄(No.4)のいずれも表示の数値を満たしていました。

まとめ

・紫外線遮蔽率は全銘柄94%以上、UPFは11銘柄中9銘柄が最高値である50+であり、全体的に高い数値でした。色別では黒

が高い傾向にありましたが、その他の色では傾向はありませんでした。新品時と比較して、湿潤時、10回洗濯後でも変化はありませんでした。

・紫外線カット効果に関する数値等の目安表示があったのは11銘柄中8銘柄であり、いずれも表示の数値を満たしていました。

消費者へのアドバイス

・ラッシュガードは紫外線カット効果が高いことが分かりました。日焼け止めを何度も塗り直す必要がないため、肌の弱い子供や赤ちゃんに有効と考えられます。紫外線カットの効果を示す数値表示のある銘柄はいずれもその値を満たしていたので、商品選択の参考にしてください。

・UPFは紫外線の人体影響度(肌に紅斑が現れる)がより明確に表現される評価基準です。真夏の海や炎天下など紫外線の強い環境に長時間いる場合は、最高値であるUPF50+の物を着用すると効果的でしょう。

・ラッシュガード着用後、海水や塩素による変色・劣化を防ぐためにはすぐに水洗いしましょう。ぬれたままの長時間放置は避けましょう。